

2016 年度

事業報告書

2016 年 4 月 1 日から
2017 年 3 月 31 日まで

公益社団法人日本麻酔科学会

法人の概要

日本麻酔科学会の大きな使命は、安全で質の高い医療を提供するための事業活動を通して、国民の健康と福祉の増進に寄与することである。本学会はこの使命を達成するため、これまで麻酔科専門医の育成や国民への啓発をはじめとする種々の取り組みを行ってきた。2001年に社団法人に、次いで2011年4月1日に公益社団法人に認定され、本学会の社会貢献の役割が更に明確化されたところである。以下の学会理念をもとに各種事業を行う。

1. 役員 (2017年3月31日現在)

理事長 (代表理事) 外 須美夫 (理事)

常務理事 稲田 英一(理事(副理事長)) 齋藤 繁(理事)
白石 義人(理事(事務局長)) 西脇 公俊(理事) 萬 知子(理事)

理 事 上山 博史 牛島 一男 尾崎 眞 川前 金幸
木内 恵子 佐和 貞治 鈴木 利保 鈴木 宏昌
住田 臣造 瀬尾 勝弘 西川 精宣 山蔭 道明
山崎 光章 横山 正尚

監 事 西川 俊昭 楨田 浩史

2. 代議員 279名 (2017年3月31日現在)

赤塚 正文	赤松 繁	足立 健彦	飯田 宏樹	五十嵐 孝	池田 栄浩	石川 岳彦
石川 輝彦	石黒 芳紀	石田 和慶	出田眞一郎	井関 雅子	磯野 史朗	市川 敬太
伊藤 彰師	稲垣 喜三	稲田 英一	伊良波 浩	岩崎 達雄	上園 晶一	上山 博史
牛島 一男	内田篤治郎	内田 博	内野 博之	梅垣 修	梅田英一郎	江島 豊
枝長 充隆	近江 禎子	大久保和章	大島 正行	太田助十郎	大坪 俊紀	大西 佳彦
大平 直子	近江 明文	岡 龍弘	岡崎 敦	岡田 俊樹	岡本 浩嗣	於川 勝美
奥田 泰久	奥谷 龍	奥富 俊之	小倉 信	尾崎 眞	小澤 章子	落合 亮一
小野 和身	小幡 英章	甲斐 哲也	貝沼 関志	香川 哲郎	垣花 学	角谷 哲也
角山 正博	風間 富栄	榎本 温	片山 浩	門井 雄司	加藤 孝澄	加藤 道久
香取 信之	金子 武彦	加納 正也	上林 卓彦	辛島 裕士	狩谷 伸享	川上 浩文
川口 昌彦	川崎 孝一	川崎 貴士	川前 金幸	川真田樹人	河本 昌志	管 桂一
神田橋 忠	上村 裕一	菊谷 健彦	北浦 道夫	北川 裕利	北口 勝康	北畑 洋
北村 晶	鬼頭 剛	木内 恵子	金 徹	木山 秀哉	櫛方 哲也	久米田幸弘
倉迫 敏明	黒澤 伸	黒田 昌孝	小坂橋俊哉	小出 康弘	黄 仁謙	小坂 誠
小竹 良文	小林 佳郎	小森万希子	小山 薫	金 正	近藤 修	最首 俊夫
齋藤 繁	齊藤 洋司	坂口 嘉郎	佐藤 健治	佐藤 淳	佐和 貞治	澤井 俊幸
澤村 成史	塩川 泰啓	志賀 達哉	重松次郎昌幸	重見 研司	設楽 敏朗	下田 栄彦
下村 俊行	生野慎二郎	白石 義人	白神豪太郎	進藤 一男	杉浦 健之	杉田 道子
杉本 清治	杉山 和英	鈴木 昭広	鈴木 照	鈴木 健二	鈴木 孝浩	鈴木 健雄
鈴木 利保	鈴木 宏昌	鈴木 康之	角倉 弘行	住田 臣造	瀬尾 勝弘	瀬川 一
関口 芳弘	関山 裕詩	瀬戸 倫義	瀬戸口秀一	芹田 良平	其田 一	祖父江和哉
多賀紀一郎	高雄由美子	高木 敏行	高崎 康史	高澤 知規	鷹取 誠	高橋 利通
高橋 浩	高畑 治	瀧田 恒一	竹内 護	武田 吉正	竹中 元康	田代 雅文
多田 文彦	多田羅恒雄	田中 克哉	田中 聡	田中 源重	谷口 巧	谷口 正彦
中馬理一郎	張 京浩	津崎 晃一	土田 英昭	恒吉 勇男	角淵 浩央	寺井 岳三
照井 克生	土井 松幸	遠山 一喜	時岡 宏明	土手健太郎	富岡 俊也	中尾 慎一
長尾乃婦子	中川 五男	永田 博文	中塚 逸央	中塚 秀輝	中根 正樹	中野 浩
中村 信一	中村 達雄	中村 正人	中山 英人	成田 昌広	新見 能成	新山 幸俊
西川 精宣	西川 俊昭	西田 修	西村 信哉	西山 友貴	西脇 公俊	新田 俊一
野村 岳志	野村 実	萩平 哲	橋口 清明	橋口さおり	馬場 知子	馬場 洋
濱口 眞輔	濱田 宏	原 哲也	原武 義和	肥川 義雄	尾藤 博保	日野原 宏

平川奈緒美	廣瀬 宗孝	廣田 和美	広田 喜一	福崎 誠	福重 哲志	福田 和彦
藤井ひとみ	藤野 裕士	藤村 直幸	藤本 一弘	淵上 竜也	外 須美夫	堀口 剛
榎田 浩史	松川 隆	松永 明	松本 重清	松本 晶平	松本美志也	眞鍋 治彦
丸山 一男	水野圭一郎	水本 一弘	溝渕 知司	溝部 俊樹	光畑 裕正	南 敏明
宮田 裕史	宮部 雅幸	村尾 浩平	村上 康郎	村川 雅洋	室園美智博	森 隆
森 美也子	森崎 浩	森田 慶久	森松 博史	森本 裕二	森脇 克行	諸岡 浩明
安田 誠一	山内 正憲	山浦 健	山蔭 道明	山口 重樹	山崎 隆史	山崎 光章
山田 圭輔	山田 達也	山田 徳洪	山田 芳嗣	山本 達郎	山本 智久	横田 美幸
横山 正尚	吉川 大輔	吉田 仁	萬 知子	萬家 俊博	渡辺 裕生	

3. 事業の概要

本学会は、以下の理念を掲げ事業を行っている。

公益社団法人日本麻酔科学会（以下、本学会という）は、周術期の患者管理を中心としながら、救急医療、集中治療、疼痛管理、緩和医療などの領域において、患者の命を守り、安全で安心できる医療を提供する。

1. 質の高い麻酔科医の育成

質の高い麻酔科医とは、周術期管理、侵襲制御、疼痛管理等において優れた知識と技術、およびコミュニケーション能力を有し、チーム医療を中心的に担える者である。本学会は知識や技術、能力を習得するためソフト面およびハード面を整備し、次世代の日本の医療を十分に担う質の高い麻酔科医を多く育成する。

2. 先進的研究の推進と新たな医療技術の創成

医療において人類の幸福に役立つ新しい知見や技術の創成が重要である。本学会はそのような研究を支援し、得られた発見（知見）や技術、情報を社会に提供する。

3. 麻酔科医療の啓発

国民が安全で安心できる医療を受けるには、国民に対し麻酔科医療に関する正しい知識や認識を提供する必要がある。本学会は広報活動や日常の診療を通じて国民に麻酔科医が担う医療の役割や重要性を啓発し、その認識を普及させる。また、医学生や研修医に対しても麻酔科関連医療の重要性を啓発し、麻酔科専門医の拡充を図る。

4. 他領域との協働

患者中心の安全で質の高い医療を供給するために、本学会は他科の医師や看護師、薬剤師、臨床工学技士などのコメディカルと真のチーム医療として周術期管理チームを組織し、それを実践する基盤を確立する。

5. 国際的な医療連携への貢献

麻酔関連領域における国際的医療水準を高めることは重要である。本学会は世界各国との連携のもとに国際的な医療人の育成や組織作りを推進する。世界麻酔科学会（WFSA）及びアジア・オーストラレーシア地区（AARS）の一員として、とくにアジア地域と人材および知識交流に努める。

4. 事業の区分

理念に基づく事業区分を公益法人申請にあたり、以下の通りとした。

(1) 公益目的事業

公1 麻酔科学の新たな発展のために国内外の先端的研究を奨励・推進・支援し、あわせて国内外の関連学術団体をはじめ関係方面と研究・協力をを行い、もって新しい技術と正しい知識の普及・啓発を図り、その成果を社会に還元する事業（**学術事業・交流事業**）

公2 会員が専門的知識や技術を習得するために、研修及び麻酔科関連業務に関わる医師及び施設の審査・認定を実施し、あわせて麻酔科関連医療に関わる調査および研究の推進を図り、特に麻酔科関連の事故症例の検証により再発防止に努め、もって社

会に安全で良質な医療を提供するための事業（教育事業・安全事業）

公3 一般市民が安全で安心できる医療を受けるために、医療に関する正しい知識や認識の向上を図り、さらに麻酔科医が担う医療の役割や重要性を啓発し、普及させる事業（公益事業）

(2) 収益事業等

- 収1 医師賠償責任保険の加入仲介事業、所得補償保険の加入仲介事業
- 収2 展示出展事業

5. 社員総会・理事会報告

第1回 理事会

- 1. 日 時：2016年4月22日（金） 13：00～17：00
- 2. 場 所：日本麻酔科学会 神戸事務局
- 3. 理 事：20名 監事：3名
- 4. 出席者：理事19名 監事3名

第6回 定時社員総会

- 1. 日 時 2016年5月25日（水） 14:00～16:00
- 2. 場 所 福岡国際会議場 3F 第1会場 メインホール
- 3. 社員数 282名
- 4. 理事現在数 20名
- 5. 理事出席者数 19名
- 6. その他出席者数 276名（うち委任状26, 議決権行使書31）

第2回 理事会

- 1. 日 時：2016年8月19日（金） 13：00～16:00
- 2. 場 所：日本麻酔科学会 神戸事務局
- 3. 理 事：20名 監事：2名
- 4. 出席者：理事19名 監事2名

第3回 理事会

- 1. 日 時：2016年11月25日（金） 13：00～16:00
- 2. 場 所：日本麻酔科学会 神戸事務局
- 3. 理 事：20名 監事：2名
- 4. 出席者：理事18名 監事2名

第4回 理事会

- 1. 日 時：2017年3月24日（金） 13：00～16:00
- 2. 場 所：日本麻酔科学会 神戸事務局
- 3. 理 事：20名 監事：2名
- 4. 出席者：理事20名 監事1名

6. 事業報告

(1) 公益目的事業

事業区分にある公益目的事業公1、公2、公3にある事業を組織運営上、委員会に割り振り運営を行っている。

公1は、学術事業、交流事業であり担当委員会は、以下の通りである。

- ・学術委員会
- ・国際交流委員会
- ・関連領域検討委員会

公2は、教育事業、安全事業であり担当委員会は以下の通りである。

- ・教育委員会
- ・安全委員会

・救急心肺蘇生検討委員会

公3は、公益事業であり担当委員会は以下の通りである。

・広報委員会

・麻酔博物館事業検討委員会

(2) 収益事業

収1は、医師賠償責任保険，所得補償保険の加入仲介事業を実施した。

収2は、学術集会開催時に附設展示会を実施した。

(3) 管理運営部門

管理運営部門として以下の組織を置き，運営を行った。

・総務委員会

・財務委員会

・倫理委員会

・事務局

各委員会の委員長は理事とし，統括として常務理事において運営を行った。以下に各委員会の事業報告の概要を記す。

(1) 公益目的事業

<公1：学術・交流事業>

1) 学術委員会 (委員長：山蔭理事 担当常務理事：稲田理事)

【業務内容】

学術委員会は学術事業を担当する。「国内外の先進的研究を奨励・推進・支援し，あわせて国内外の関連学術団体をはじめ関係方面と連携し，新しい技術と正しい知識の普及・啓発を図り，その成果を社会（国民）へ還元する」ことを事業目的とし，中期および短期計画を立案し，その実行にあたる。学術事業戦略は，大きく A. 学術集会運営，B. 機関誌，準機関誌の発行，C. 麻酔科学用語集の編集・発行に分けられる。

【2016年度報告】

第63回年次学術集会の開催，2016年度支部学術集会の開催，学術集会演題登録および査読システムの運用問題および今後策の検討の他，年次および支部学術集会に関する事項の検討，2017年度学会賞審査・決定，JAシンポジウム決定，Journal of Anesthesia のインパクトファクター向上策の検討，JA Clinical Reports の活性化，学術研究推進助成課題の募集・審査・決定，用語集改訂方針決定，などを行った。

★ 委員会開催回数4回（8月15日，11月14日，1月23日，3月14日）

2) 国際交流委員会 (委員長：横山理事 担当常務理事：萬理事)

【業務内容】

国際交流委員会は「国際的医療連携への貢献」に関連する交流事業戦略の国際交流部門を担当し，その中期および短期計画を立案，実行にあたる。

【2016年度報告】

第63回年次学術集会において国際交流委員会企画「海外に目を向けよう②：研究留学のススメ」実施，国際交流サロンの設置，第4回東アジア麻酔科学会を開催した。また，第64回年次学術集会開催時の国際交流委員会企画決定，2016年度海外留学生受け入れ（8名），WCA2016へのDelegate派遣，2017年度海外受け入れ留学生（11名）および施設決定，留学生受け入れ運用の見直し・マニュアル作成，2017年度マイクロネシアリフレッシュャーコース派遣講師決定，過去ネパールから受け入れた留学生施設の視察・事業結果の検証，第5回東アジア麻酔科学会派遣演者決定などを行った。

★ 委員会開催数2回（7月30日，10月17日）

3) 関連領域検討委員会 (委員長・担当常務理事：白石理事)

【業務内容】

関連領域検討委員会は，「他領域と協働する医療」に関連する交流事業戦略の関連領域部門を担当し，その中期および短期計画を立案，実行にあたる。活動範囲は，集中治療，疼痛治療，緩和医療など麻酔科関連領域部門との関わりについての検討である。

【2016 年度報告】

日本麻酔科学会地域トレーニングサイトでの開催状況についての検討、理事向けおよび専門医試験官向け講習会を実施し、理事向け BLS/ACLS コース 2 名、専門医試験官向け BLS/ACLS コース 9 名が参加した。各地域トレーニングサイトでの BLS, ACLS コース実施を実施し、ACLS コースに 186 名（内会員, 15 名）、BLS コースに 161 名（内, 会員 11 名）が参加した。

★ 委員会開催回数 0 回

<公2：教育・安全事業>

1) 教育委員会（委員長・担当常務理事：稲田理事）

【業務内容】

教育委員会は教育事業を担当する。学会理念の 1 項に掲げる「質の高い麻酔科医の育成」のため、認定医・専門医・指導制度および認定病院など教育機関の充実を図る。専門医、指導医および認定施設の認定および更新の審査は明確な基準を設けてこれを行う。高度な知識、判断力、技術を向上、維持するための研修や自己学習の機会を提供する環境を整備する。

また、非会員に向けた教育事業と連携し、多職種への教育普及、認定の実施、関連団体との折衝を実施し、周術期管理チーム医療の確立を目指す。

【2016 年度報告】

第 63 回年次学術集会時リフレッシュャーコースの実施、関連領域サブスペシャリティ診療科依頼についての検討、学会認定制度の検討、JSEPTIC セミナー、INTENSIVIST セミナー、雑誌「麻酔科学レビュー」の単位付与申請、日本専門医機構専門医制度について機構との折衝（研修プログラム整備基準修正、機構専門医更新基準、専門医共通講習、専門医領域講習の実施、関連学会での専門医領域講習の実施）についての検討などを行った。

★ 委員会開催回数 2 回（10 月 14 日、1 月 16 日）

・麻酔業務に関わる医師、医師以外、ならびに施設の審査・認定
所定の内規に則り下記資格ならびに施設を認定した。

①認定医等の新規認定、資格試験の実施

2016 年度は、2016 年 4 月・8 月・12 月の計 3 回認定審査を行い、2016 年度新規認定医審査合格者数は 414 名となった。

第 1 回申請者：250 名	合格者：250 名（2016 年 4 月 1 日認定）
第 2 回申請者：91 名	合格者：91 名（2016 年 8 月 1 日認定）
第 3 回申請者：74 名	合格者：73 名（2016 年 12 月 1 日認定）

②新規専門医

2016 年 9 月 25 日・9 月 30 日、10 月 1 日・2 日、第 55 回麻酔科専門医認定試験が実施された。

9 月 25 日：筆記試験（会場：TOC 有明・神戸国際展示場）

9 月 30 日、10 月 1 日・2 日：口頭試験・実技試験（会場：神戸ポートピアホテル）

受験者総数：575 名

新規認定専門医（3 科目合格者）数：442 名

筆記受験者数：498 名	合格者：438 名	合格率：88.0%
口頭受験者数：505 名	合格者：467 名	合格率：92.4%
実技受験者数：483 名	合格者：449 名	合格率：93.0%

③新規指導医

2016 年 11 月 7 日、2016 年度麻酔科指導医新規認定の審査会が開催された。麻酔科指導医新規認定者は 232 名となった。

④新規認定病院

2016 年度は、3 回認定審査を行い、2016 年度新規認定病院数は 58 施設となった。

第 1 回申請施設：31 施設	合格施設：31 設（2016 年 4 月 1 日認定）
第 2 回申請施設：16 施設	合格施設：16 施設（2016 年 8 月 1 日認定）
第 3 回申請施設：11 施設	合格施設：11 施設（2016 年 12 月 1 日認定）

⑤認定医等の資格更新審査

2016年12月22日、2016年度麻酔科指導医更新者の審査会が開催され、麻酔科指導医更新者は392名(2017年3月31日時点)となった。2017年1月26日、2016年度麻酔科専門医更新者の審査会が開催され、麻酔科専門医更新者は342名(2017年3月31日時点)となった。また2017年2月10日麻酔科認定医更新申請者の審査会が開催され、認定医更新者は113名(2017年3月31日時点)となった。

指導医更新者：392名 暫定指導医認定：12名
専門医更新者：342名 暫定専門医認定：44名
認定医更新者：115名 暫定認定医認定：13名

⑥認定病院更新

麻酔科認定病院更新申請施設 149施設 (内、149施設の認定)

⑦麻酔科専門医研修プログラム

機構認定麻酔科専門研修プログラム：申請数：164プログラム 合格施設：163プログラム

周術期管理チーム委員会では第63回年次学術集会、ならびに支部学術集会に併催する形で計7回の周術期管理チームセミナーを開催した。昨年度の筆記試験問題の検証と本年度試験問題の作成、出題問題の解説集の発行、周術期管理チームテキスト第3版(改訂版)を発行した。また、従来の周術期管理チーム看護師認定審査のほか、周術期管理チーム薬剤師認定審査を実施した。周術期管理チーム薬剤師認定事業について、先方団体との認識齟齬がありトップ会談を実施し双方の意思確認を行った。日本病院薬剤師会との共同運営が適わないことから、本認定について2017年度より本学会主体で行うこととし、申請要件や試験実施については下記の通りとすることが決定した。

- ・2017年度より筆記試験を実施し、試験問題については本学会で作成する。
- ・申請要件について、症例報告書の提出は必須とし、本学会で確認・判断ができる形式、および内容とする。
- ・受講講習、セミナー等については、本学会が開催する周術期管理チームセミナーのみ認める。

★ 委員会開催回数 1回(7月21日、1月31日)

周術期管理チーム認定資格新規審査

2014年度より麻酔科医と共に周術期業務に従事する多職種(看護師、薬剤師、臨床工学技士(非会員))について、実務経験、所定の教育効果を測る目的で周術期管理チーム認定制度を開始、検討を行った。2016年度については看護師を対象に5月15日～6月末日に認定申請受付、7月～9月に書類審査、11月12日に筆記試験を行い、以下の通り認定をした。

看護師新規申請者数 : 321名
看護師書類審査合格者 : 289名
看護師筆記受験者数 : 284名
看護師合格者数 : 272名
看護師認定者数 : 272名 (2017年4月1日認定)

看護師筆記試験開催概要

日 程 : 2015年11月12日

会 場 : 五反田 TOC (東京会場), 神戸ポートピアホテル(神戸会場)

薬剤師新規申請者数 : 89名
薬剤師書類審査合格者 : 88名
薬剤師合格者数 : 88名
薬剤師認定者数 : 88名 (2017年4月1日認定)

薬剤師認定については、2016年度は暫定1年目であることから筆記試験の実施はせず、書類審査のみとした。

2) 安全委員会 (委員長：瀬尾理事 担当常務理事：西脇理事)

【業務内容】

安全委員会は、麻酔および周術期医療に必要なリスクマネジメントに関する事項について検討する安全事業戦略を担当する。安全な麻酔の施行に必要な調査および情報収集を行い、さらに質の高い安全な麻酔のためのガイドライン作成やマニュアルの策定を主導する。安全事業戦略は、大きく4つの部門、統計調査・情報収集部門、麻酔関連機器部門、薬剤および麻酔手技部門、リスクマネジメント部門に分けられる。

【2016年度報告】

今年度検討したガイドラインの作成進捗は以下の通りである

- ・悪性高熱症ガイドラインは日本語版が作成完了し、英語版についても投稿が完了した。
- ・安全な中心静脈カテーテル挿入・管理のためのプラクティカルガイド2017を作成した。
- ・危機的出血への対応ガイドライン2016を作成した。
- ・アナフィラキシーへの対応ガイドラインは作成中である。
- ・局所麻酔薬中毒への対応ガイドラインは作成中である。
- ・医薬品ガイドラインの改訂案については4事項の改訂を行った。
- ・ヘルシンキ宣言の和訳を作成中である。

また、医療機器不具合情報の検討、会員への周知、医療ガス誤認防止啓発ポスターの作成、患者向け禁煙啓発ポスター案の検討、安全委員会企画の検討、およびJSAPIMS（麻酔台帳）の開発、偶発症例調査結果の論文化、ICD（インфекションコントロールドクター）申請受付を行い申請者6名全員が合格した、2018年度実施のICD制度講習会の申請も行った。

★ 委員会開催回数 3回（7月9日、11月3日、3月9日）

メールでの持ち回り審議 29回

<公3：公益事業>

1) 広報委員会（委員長・担当常務理事：萬理事）

【業務内容】

広報委員会は公益社団法人としての本学会の目的を念頭に置き、本学会の活動を広く社会及び本学会会員に広報する普及啓発事業戦略を担当する。本学会の社会的活動の推進を図ることを目的に中期及び短期計画を立案し、その実行に当たる。活動の対象は一般社会、各種マスコミ、会員、臨床研修医、医学生、及び関係各省庁に分けられる。

【2016年度報告】

麻酔の日（10月13日）新聞記事掲載についての検討、麻酔の日のポスター作成・認定病院への配布、HP改変についての検討、新コンテンツ（麻酔科専門医研修プログラム検索機能、研修医へのメッセージ等）公開、レジナビフェア2016への参加、第64回年次学術集会招待企画についての検討、研修医向けパンフレット改訂の検討、メディアからの問い合わせ対応、ニューズレターの企画・校正・発刊、「麻酔のしおり」改訂などを行った。

★ 委員会開催回数 4回（4月24日、7月5日、11月13日、2月19日）

2) 麻酔博物館事業検討委員会（委員長：木内理事 担当常務理事：齋藤理事）

【業務内容】

麻酔博物館は、主に一般社会、会員を対象とした普及啓発事業を担当する。麻酔科学発展の足跡となる資料の収集・保存と、展示による啓発を目的に中期および短期計画を立案し、その実行に当たる。活動の内容は、資料収集・整理・保存、企画運営、広報・交流活動、機器史料展示に分けられる。

【2016年度報告】

2016年度来館者数は、643名（2017年3月31日時点）となった。第63回年次学術集会特別展示実施、第64回年次学術集会委員会企画決定、図書、文書管理の方針検討・棚卸し実施決定、館員の増員、研究会の設置検討、常置委員会化の決定、2016年度インタビュー実施、展示物英語併記実装、華岡青洲展示コーナー設置検討、英語HP開設、麻酔の日の広告について検討、ロゴマークの変更、ISHA誘致活動、書籍・機器の受け入れなどを行った。

★ 委員会開催回数 2回（7月30日、2月18日）

(2) 収益事業

<収1>

医師賠償責任保険と所得補償保険の団体加入契約を、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、

三井住友海上保険株式会社，東京海上日動火災保険株式会社と締結し，その仲介事務事業を行った。

<収2>

第63回年次学術集会（2016年5月26日～28日）開催，9月の第1週～第2週に各支部学術集会開催時に，医療機器，医薬品，検査機器，医療情報示説，書籍等を対象として出展を実施し，本学会は展示小間を提供した

（3）その他（管理運営部門）

1）総務委員会（委員長・担当常務理事：齋藤理事）

【業務内容】

学会理念達成のため，麻酔科診療発展・医療貢献事業戦略，社会保険における麻酔科診療の評価の見直しおよび麻酔科医の労働環境の改善・整備に関する事業戦略を担当し，学会組織に係わる事項，すなわち組織運営に関する事項，会則検討に関する事項を担当する。

【2016年度報告】

- ★ 渉外活動検討部会では本学会が把握するフリーター麻酔科医について検討を行った。社会保険部会では平成30年度診療報酬改定要望について検討し，①長時間麻酔管理料加算の拡大（麻酔管理料Ⅰ，麻酔管理料Ⅱ），②麻酔困難症の区域麻酔加算（L002脊椎麻酔），③周術期管理チーム加算（麻酔管理料Ⅲ，麻酔管管理料Ⅳの新設）を要望することとした。深鎮静（静脈麻酔）に関しては，要望検討としていたが外科系学会社会保険連合において要望内容について他学会との調整が困難であったため，本学会としては平成30年度診療報酬改定では申請せず，継続審議とした。また，医療ニーズの高い未承認薬・適応外薬の要望対象の拡大に関する要望検討を行った。その他，供給停止品目の検討，全国肢体不自由児施設運営協議会からの依頼を受けて障害児全身麻酔の診療報酬加算検討，麻酔試案改訂へのデータ調査協力などを行った。会則検討部会では2017年度会則改廃検討を行った。公益社団法人理事の他団体理事兼務人数制限の確認，名誉会員顕彰として「麻酔科歴史名誉賞」受賞の検討，名誉会員審査などを行った。
- ★ 委員会開催回数 3回（7月11日，11月4日，2月9日）

2）財務委員会（委員長・担当常務理事：西脇理事）

【業務内容】

学会理念達成のための事業計画遂行には，学会の財務基盤の長期的安定が必須である。財務委員会は適切な事業計画作成を可能とするために，過去の予算案，決算書，財務管理の実績と現状分析，および将来的予測から，正確な資金計画をたてる。学会の円滑な業務執行を可能にするために，健全な財務状況を維持し，地震など災害発生時にも事業継続を可能とするような計画を立案する。

【2016年度報告】

2015年度決算ならびに2017年予算についての検討，2016年度各月月締め決算・上半期決算・暫定決算それぞれの検討，第63回学術集会暫定決算についての検討，ガイドライン作成費負担についての検討，会費受入口座の口座番号変更についての検討，WFSA会費値上げについての検討，JSAPIMS 損害賠償についての検討，転載許諾有料化についての検討，日本専門医機構の運営資金借入依頼についての検討，資産運用の検討，専門医機構単位講習財務関連の検討，3学会合同作成抗血栓療法ガイドラインの支払についての検討，周術期管理チーム認定制度更新料についての検討などを行った。

- ★ 委員会開催回数 10回（4月18日，6月21日，8月17日，9月20日，10月19日，11月21日，12月14日，1月23日，2月22日，3月22日），その他検討事項はメール持回り審議を行った。

3）倫理委員会（委員長：鈴木利保理事，担当常務理事：齋藤理事）

【業務内容】

倫理委員会は，学会理念に基づく事業を遂行する上で問題となる倫理的事項について検討する。学会や会員に関わる倫理的問題が生じた場合，その処分を含む対応について検討する。

【2016年度報告】

倫理審査を5件実施した。また，新たに診療報酬詐欺調査特別委員会，麻薬の自己使用調

査特別委員会，危険薬物密輸入調査特別委員会，会員の論文捏造調査特別委員会を設置した．聖隷三方原病院調査特別委員会，診療報酬詐欺調査特別委員会，麻薬の自己使用調査特別委員会の調査結果を元に，処分案の検討を行なった．その他，第64回日本麻酔科学会学術集会の委員会企画の検討を行なった．

★ 委員会開催数 2回(6月9日，3月2日)

4) 事務局 (事務局長・担当常務理事：白石理事)

【業務内容】

定款に本学会の事務を処理するために事務局を設置する，と規定されるとともに，事務局長は理事の中から理事会が選任すること，事務長及び所要の職員を置くこと，と規定されている．

【2016年度報告】

上半期は，新入会者の審査，転載許諾有料化についての検討，2016年度上半期事業報告・業務監査についての検討，2017年度事業計画についての検討，システム開発状況についての検討などを行った．

★ 委員会開催数 3回(11月18日，2月7日，3月14日) メールでの持ち回り審議も行った．

5) その他

【登録・派遣】

日本学術会議，日本医師会，日本医学会，厚生労働省医道審議会標榜医審査会，日本専門医機構，大学評価・学位授与機構，外科系医学会社会保険委員会連合，外科関連学会協議会，日本救急医療財団，日本蘇生協議会，3学会合同呼吸療法士認定委員会，医療機能評価機構，日本骨髄バンク，日本臓器移植ネットワーク，全国MC協議会，全国医療安全共同行動，日本歯科麻酔学会，禁煙学術ネットワーク，WFSA，AARS等に委員を派遣し，各々の目的と事業に合わせ連携・協力した．

・各種学術集会協賛・後援

関連協力団体の学術集会および講習会，市民公開講座等を協賛・後援を行った．

7. 2016年度委員会委員等一覧

<事務局>担当常務理事：白石 義人

事務局長：白石 義人

事務局：足立 健彦 上山 博史 森崎 浩

アドバイザー：工藤 一大 多田 恵一 増田 純一

神戸事務局

東京事務所

〔選挙管理委員会〕

委員長：工藤 一大

委員：白石 義人 顧問弁護士

〔ハラスメント対策室〕

室長：木内 恵子

委員：鈴木 健二

オブザーバー：顧問弁護士

<常置委員会>

【総務委員会】担当常務理事：齋藤 繁

委員長：齋藤 繁

副委員長：尾崎 眞 鈴木 宏昌

委員：小坂橋俊哉 佐藤 哲文 竹内 護 谷口 巧 土田 英昭

〔社会保険部会〕

部会長：落合 亮一
部会員：天谷 文昌 岩瀬 良範 上園 晶一 桑内 亜紀 塚田さよみ
寺嶋 克幸 森崎 浩 横田 美幸

〔会則検討部会〕

部会長：齋藤 繁
部会員：河本 昌志 鎮西美栄子 前原 康宏

〔渉外活動検討部会〕

部会長：土田 英昭
部会員：落合 亮一 小坂橋俊哉 中塚 秀輝 萬 知子

〔標榜医制度見直し検討ワーキンググループ〕

WG 長：落合 亮一
メンバー：稲田 英一 大嶽 浩司 澤 智博 白石 義人 山田 芳嗣
オブザーバー：齋藤 繁

〔新専門医制度詳細検討プロジェクト〕

PJ 長：齋藤 繁
メンバー：稲田 英一 西脇 公俊 山蔭 道明

【財務委員会】担当常務理事：西脇 公俊

委員長：西脇 公俊
副委員長：足立 健彦
委員：藤野 裕士 森崎 浩

【倫理委員会】担当常務理事：齋藤 繁

委員長：鈴木 利保
副委員長：牛島 一男
委員：北村 晶 世良田和幸 山口 重樹

【学術委員会】担当常務理事：稲田 英一

委員長：山蔭 道明
副委員長：山崎 光章
委員：浅井 隆 垣花 学 川真田樹人 小竹 良文
福田 和彦 山浦 健 山田 芳嗣

◆会長1名・副会長3名

会長：外 須美夫
副会長：土田 英昭 河本 昌志 西脇 公俊

〔第64回学術集会実行委員会〕

委員長：土田 英昭
副委員長：河本 昌志
委員：磯野 史朗 内野 博之 大嶽 浩司 小川 真生 奥富 俊之
川股 知之 坂口 嘉郎 藤野 裕士 森松 博史 山浦 健

〔第65回学術集会実行委員会〕

委員長：河本 昌志
副委員長：西脇 公俊

◆ 第64回学術集会循環ワーキンググループ

WG 長：山浦 健
メンバー：北川 裕利 田中 克哉 中島 芳樹 原 哲也 山崎 光章

◆ 第64回学術集会呼吸ワーキンググループ

W G 長：磯野 史朗

メンバー：甲斐 哲也 木山 秀哉 車 武丸 鈴木 昭広

◆ 第64回学術集会神経ワーキンググループ

W G 長：内野 博之

メンバー：垣花 学 倉田 二郎 田辺久美子 坪川 恒久 山口 重樹

◆ 第64回学術集会小児・産科ワーキンググループ

W G 長：奥富 俊之

メンバー：大瀧 千代 何 廣頤 川名 信 照井 克生 水野圭一郎

◆ 第64回学術集会ペイン緩和・局所麻酔ワーキンググループ

W G 長：川股 知之

メンバー：天谷 文昌 住谷 昌彦 高雄由美子 橋口さおり 服部 政治
濱田 宏 南 敏明

◆ 第64回学術集会救急・ICUワーキンググループ

W G 長：藤野 裕士

メンバー：今泉 均 川前 金幸 谷川 攻一 谷口 巧 長谷 敦子

◆ 第64回学術集会麻酔科関連ワーキンググループ

W G 長：森松 博史

メンバー：片山 勝之 佐藤 健治 讃岐美智義 白神豪太郎 尾頭希代子
萬 知子 萬家 俊博

◆ 第64回学術集会麻酔全般ワーキンググループ

W G 長：坂口 嘉郎

メンバー：北村 晶 澤 智博 重見 研司 徳嶺 讓芳 西川 精宣
宮部 雅幸

〔学術研究推進専門部会〕

部 会 長：川真田 樹人

部 会 員：浅井 隆 内田篤治郎 落合 亮一 垣花 泰之 川口 昌彦
藤野 裕士 増井 健一 森松 博史

〔麻酔科学用語専門部会〕

部 会 長：小竹 良文

部 会 員：江木 盛時 鈴木 孝浩 角倉 弘行 益田 律子

〔機関誌専門部会〕

部 会 長：山蔭 道明

部 会 員：磯野 史朗 市瀬 史 上村 裕一 齋藤 繁 照井 克生
土田 英昭 橋本 悟 平田 直之 廣田 和美

〔Journal of Anesthesia Editorial Board〕

Editor-in-Chief：廣田 和美

Section Editor：浅井 隆 井上莊一郎 江木 盛時 小田 裕 垣花 学
川口 昌彦 蔵谷 紀文 齋藤 繁 角倉 弘行 山蔭 道明
山本 達郎

〔Journal of Anesthesia Clinical Reports Editorial Board〕

Editor-in-Chief：山蔭 道明

Section Editor：浅井 隆 磯野 史朗 井上莊一郎 江木 盛時 小田 裕
垣花 学 川口 昌彦 上村 裕一 齋藤 繁 角倉 弘行

土田 英昭 照井 克生 橋本 悟 平田 直之 廣田 和美
山本 達郎

〔「麻酔」編集会議〕

委 員：浅井 隆 稲田 英一

【国際交流委員会】担当常務理事：萬 知子

委 員 長：横山 正尚

副 委 員 長：川前 金幸

委 員：大嶽 浩司 奥富 俊之 垣花 学 齊藤 洋司 萬 知子

〔英語ホームページリニューアル専門部会〕

部 会 長：齊藤 洋司

部 会 員：浅井 隆 大嶽 浩司

【関連領域検討委員会】担当常務理事：白石 義人

委 員 長：白石 義人

副 委 員 長：住田 臣造

委 員：有村 敏明 橋本 悟 細川 豊史 月山 淑

〔集中治療領域検討部会〕

部 会 長：橋本 悟

部 会 員：内野 博之 貝沼 関志 山口 修

〔ペイン領域検討部会〕

部 会 長：細川 豊史

部 会 員：岡本健一郎 服部 政治

〔緩和領域検討部会〕

部 会 長：月山 淑

部 会 員：中谷 俊彦 橋口さおり

〔救急領域検討部会〕

部 会 長：有村 敏明

部 会 員：足立 健彦 清水 直樹 武田 吉正 田勢長一郎

多田 恵一 谷川 攻一 谷口 巧 中川 隆

外 部 委 員：坂本 哲也 野々木 宏

◆ ECC 講習会支部担当責任者ワーキンググループ

W G 長：田勢長一郎

メ ン バ ー：石川 雅巳 伊関 憲 今泉 均 漢那 朝雄 境田 康二

間瀬 則文 水本 一弘

オブザーバー：多田 恵一

◆ 救急救命士の気管挿管実習の現状と今後を考えるワーキンググループ

W G 長：多田 恵一

メ ン バ ー：川前 金幸 谷川 攻一 西脇 公俊 森崎 浩

【教育委員会】担当常務理事：稲田 英一

委 員 長：稲田 英一

副 委 員 長：佐和 貞治

委 員：上園 晶一 大江 容子 川口 昌彦 北口 勝康 鈴木 康之

高田 真二 松永 明

オブザーバー：工藤 一大

◆ 専門医研修プログラム検討ワーキンググループ

W G 長：大嶽 浩司

メンバー：足立 健彦 上村 裕一 水本 一弘 森松 博史 山口 重樹
オブザーバー：稲田 英一

◆ シミュレーションセンターワーキンググループ

WG 長：上村 裕一
メンバー：尾原 秀史 下出 典子 中島 芳樹 二階 哲朗 水本 一弘

◆ 産科麻酔検討ワーキンググループ

WG 長：奥富 俊之
メンバー：加藤 里絵 角倉 弘行 照井 克生

◆ 小児麻酔検討ワーキンググループ

WG 長：木内 恵子
メンバー：大畑 淳 香川 哲郎 鈴木 康之

◆ 心臓麻酔検討ワーキンググループ

WG 長：野村 実
メンバー：小出 康弘 竹内 護 山田 達也

〔認定審査委員会〕

委員長：稲田 英一
副委員長：内野 博之 大嶽 浩司 北口 勝康

〔第1部会（専門医認定）〕

部会長：佐和 貞治
木内 恵子 小坂橋俊哉 重見 研司 山口 重樹
(筆記試験) 松本美志也 (問題作成責任者)
大塚 将秀 (問題作成副責任者)
奥富 俊之 川股 知之 坂口 嘉郎 下山 恵美 祖父江和哉
田中 克哉 恒吉 勇男 寺嶋 克幸 橋口さおり 尾頭希代子
藤野 裕士 萬 知子
(口頭試験) 山口 重樹 (問題作成責任者)
木山 秀哉 倉田 二郎 蔵谷 紀文 小森万希子 佐藤 暢一
鈴木 孝浩 山浦 健
(実技試験) 廣瀬 宗孝 (問題作成責任者)
小澤 章子 合谷木 徹 中塚 秀輝 濱田 宏 原 哲也
水本 一弘

〔第2部会（指導医認定）〕

部会長：内野 博之
部会員：飯田 宏樹 北口 勝康 寺嶋 克幸

〔第3部会（認定医, 認定施設認定）〕

部会長：鈴木 康之
部会員：小川 幸志 森崎 浩 横山順一郎

〔第4部会（研修プログラム認定）〕

部会長：大嶽 浩司
部会員：香取 信之 鈴木 健二 藤野 裕士 森松 博史

【安全委員会】担当常務理事：西脇 公俊

委員長：瀬尾 勝弘
副委員長：西川 精宣
委員：河本 昌志 坂口 嘉郎 澤 智博 森松 博史

〔偶発症例（肺塞栓）専門部会〕

部 会 長：森松 博史
部 会 員：入田 和男 黒岩 政之 讃岐美智義 津崎 晃一 中塚 秀輝
オブザーバー：中村 真潮（外部委員） 宮脇 卓也

〔JSAPIMS 周術期情報システム専門部会〕

部 会 長：澤 智博
部 会 員：讃岐美智義 萩平 哲
オブザーバー：足立 健彦

〔医薬品適正評価対策専門部会〕

部 会 長：西川 精宣
部 会 員：岩崎 達雄 奥田 泰久 北村 晶 白石 義人 中馬理一郎

〔CCP 専門部会〕

部 会 長：河本 昌志
部 会 員：大嶽 浩司 横田 美幸

〔麻酔機器・麻酔手技安全対策専門部会〕

部 会 長：坂口 嘉郎
部 会 員：佐和 貞治 祖父江和哉 萩平 哲 松本 尚浩

◆ ICD 制度協議会加盟ワーキンググループ

W G 長：河本 昌志
メ ン バ ー：稲垣 喜三 白石 義人 森本 裕二

◆ 安全な中心静脈カテーテル挿入の手引き改訂ワーキンググループ

W G 長：西脇 公俊
メ ン バ ー：河本 昌志 柴田 康之 竹内 護 田中 克哉 徳嶺 譲芳

◆ 悪性高熱症ガイドラインワーキンググループ

W G 長：河本 昌志
メ ン バ ー：磯野 史朗 市原 靖子 菊地 博達 向田 圭子

◆ 周術期禁煙ガイドラインワーキンググループ

W G 長：飯田 宏樹
メ ン バ ー：甲斐 哲也 久利 通興 中川 雅志 森松 博史

◆ アナフィラキシーへの対応ガイドラインワーキンググループ

W G 長：森松 博史
メ ン バ ー：高澤 知規 原 哲也 光畑 裕正 山浦 健 萬 知子

◆ 局所麻酔薬中毒への対応ガイドラインワーキンググループ

W G 長：西川 精宣
メ ン バ ー：小田 裕 酒井 規広 土井 克史 祖父江和哉

◆ ヘルシンキ宣言の和訳作成のガイドラインワーキンググループ

W G 長：西脇 公俊
メ ン バ ー：市川 高夫 近江 明文 白石 義人

◆ 誤薬防止のためのシリンジラベル薬効別色分けの提言検討ワーキンググループ

W G 長：祖父江和哉
メ ン バ ー：志田 恭子 須加原 一博 鈴木 利保

【広報委員会】担当常務理事：萬 知子
委 員 長：萬 知子

副委員長：上山 博史
委員：稲垣 喜三 加藤 里絵 坪川 恒久 藤中 和三
オブザーバー：上村 裕一

<特別委員会>

【周術期管理チーム委員会】

委員長：落合 亮一
副委員長：川前 金幸
委員：足立 健彦 稲田 英一 近江 禎子 大嶽 浩司 河本 昌志
上村 裕一 木山 秀哉 齋藤 繁 中塚 秀輝 森崎 浩
外部委員：石橋まゆみ 萱島 道德 栗田 浩 柴田ゆうか 関谷 秀樹
原田 俊和 平野 博美 舟越 亮寛 三枝 典子 峯村 純子
宮地 哲也

〔周術期管理チーム認定審査委員会〕

委員長：落合 亮一
副委員長：稲田 英一 佐和 貞治
委員：上村 裕一 土田 英昭
外部委員：平野 博美 三枝 典子

◆ 周術期管理チーム認定ワーキンググループ

WG 長：森崎 浩
メンバー：稲田 英一 木山 秀哉
外部委員：柴田ゆうか 舟越 亮寛 宮坂 善之

◆ 周術期管理チーム試験問題作成ワーキンググループ

WG 長：落合 亮一
メンバー：飯田 良司 石川 岳彦 印南 靖志 上嶋 浩順 角山 正博
草間 宣好 小坂 康晴 近藤 一郎 佐藤 健治 柴崎 雅志
田中 聡 田中 直文 長崎 剛 新山 幸俊 丹羽 康則
橋口さおり 原 芳樹 古井 郁恵 坊垣 昌彦 間宮 敬子
武藤 理香 山浦 健 山口 嘉一 萬 知子

◆ 周術期管理チームテキスト作成ワーキンググループ

WG 長：河本 昌志
メンバー：川股 知之 鈴木 利保 角倉 弘行 坪川 恒久 藤原 祥裕
森松 博史

◆ 周術期管理チームセミナーワーキンググループ

WG 長：木山 秀哉
メンバー：上山 博史 小原 伸樹 鎌田 ことえ 川股 知之
坂口 嘉郎 鈴木 聡 田村 岳士 長瀬 清
中塚 秀輝

【麻酔博物館事業検討委員会】担当常務理事：齋藤 繁

委員長：木内 恵子
副委員長：齋藤 繁
委員：奥富 俊之 菊地 博達 武田 純三 土手健太郎 牧野 洋
松木 明知 釘宮 豊城

〔麻酔博物館 館員〕

館長：武田 純三
館員：奥富 俊之 菊地 博達 木内 恵子 釘宮 豊城 齋藤 繁
土手健太郎 牧野 洋 松木 明知

〔ISHA 誘致検討専門部会〕

部 会 長：菊地 博達
委 員 員：奥富 俊之 齋藤 繁 土手健太郎 中田 善規 牧野 洋
松木 明知

【利益相反委員会】

委 員 長：齋藤 繁
副 委 員 長：萬 知子
委 員 員：鈴木 健二

【支部委員会】

委 員 員：牛島 一男 尾崎 眞 川前 金幸 鈴木 利保 西川 精宣
山崎 光章 横山 正尚

【支部運営委員会】

(北海道・東北支部)

支 部 長：川前 金幸
学 術 委 員 員：国沢 卓之 廣田 和美 森本 裕二
委 員 員：石川 岳彦 五十洲 剛 枝長 充隆 鈴木 健二 住田 臣造
高畑 治 長尾乃婦子 星 邦彦 堀口 剛 山内 正憲
山蔭 道明

(東京支部)

支 部 長：尾崎 眞
総 務 委 員 員：坂本 篤裕 山崎 隆史 萬 知子
学 術 委 員 員：稲田 英一 落合 亮一 小森万希子 鈴木 孝浩 寺嶋 克幸
教 育 委 員 員：上園 晶一 内野 博之 前原 康宏
広 報 委 員 員：澤村 成史 森崎 浩 横田 美幸

(関東・甲信越支部)

支 部 長：鈴木 利保
総 務 委 員 員：岡本 浩嗣 鈴木 宏昌
学 術 委 員 員：奥田 泰久 川真田樹人 舘田 武志 津崎 晃一
教 育 委 員 員：北村 晶 小坂橋俊哉 齋藤 繁 竹内 護
広 報 委 員 員：磯野 史朗 照井 克生 山口 重樹

(東海・北陸支部)

支 部 長：山崎 光章
総 務 委 員 員：岡崎 敦 白石 義人 中島 芳樹
学 術 委 員 員：小澤 章子 谷口 巧 土田 英昭 宮部 雅幸
教 育 委 員 員：飯田 宏樹 西田 修 西脇 公俊 藤原 祥裕
広 報 委 員 員：重見 研司 鈴木 照 祖父江和哉

(関西支部)

支 部 長：西川 精宣
学 術 委 員 員：足立 健彦 中尾 慎一 横野 諭
教 育 委 員 員：溝渕 知司
広 報 委 員 員：上山 博史
委 員 員：川口 昌彦 川股 知之 木内 恵子 北川 裕利 佐和 貞治
廣瀬 宗孝 広田 喜一 福田 和彦 南 敏明

(中国・四国支部)

支 部 長：横山 正尚
学 術 委 員 員：田中 克哉 中塚 秀輝 森松 博史
委 員 員：稲垣 喜三 内田 博 加藤 道久 河本 昌志 齋藤 洋司

白神豪太郎 高崎 康史 鷹取 誠 松本美志也 森脇 克行
萬家 俊博

(九州支部)

支 部 長：牛島 一男
総 務 委 員：有村 敏明 外 須美夫 山本 達郎
学 術 委 員：垣花 学 北野 敬明 坂口 嘉郎
教 育 委 員：上村 裕一 川崎 貴士 山浦 健
広 報 委 員：瀬尾 勝弘 恒吉 勇男 原 哲也

8. 2016年度関連諸団体委員等一覧

【日本医師会】

疑義解釈委員会：齋藤 繁

【日本医学会】

評 議 員：外 須美夫
連 絡 委 員：稲田 英一
医学用語連絡委員：小竹 良文
代 委 員：鈴木 孝浩
利益相反委員：萬 知子

【厚生労働省医道審議会標榜医審査会】

委 員：稲田 英一 森本 裕二 工藤 一大 土田 英昭
中尾 慎一 西脇 公俊 上村 裕一 萬 知子

【日本専門医機構麻酔科領域専門医委員会】

委 員 長：上村 裕一
委 員：山田 芳嗣 山口 重樹 小板橋俊哉 重見 研司
中尾 慎一

【日本専門医機構麻酔科領域研修委員会】

委 員 長：大嶽 浩司
委 員：森松 博史 鈴木 健二 藤野 裕士 香取 信之
榎田 浩史 重見 研司 恒吉 勇男 横田 美幸

【外科関連学会協議会】

委 員：齋藤 繁 落合 亮一 森崎 浩
懇 談 会：鈴木 宏昌 竹内 護 佐藤 哲文

【外科系医学会社会保険委員会連合】

処 置 委 員 会 委 員：寺嶋 克幸
検 査 委 員 会 委 員：土井 松幸
実務委員会委員・手術委員会委員：横田 美幸
手術委員会（コーディングWG）：澤 智博
手術委員会（医療材料・医療機器WG）：土井 松幸
麻酔委員会：山田 芳嗣 落合 亮一 横田 美幸 岩瀬 良範

【日本救急医療財団】

理 事：花岡 一雄
心肺蘇生法委員会委員：多田 恵一

【日本蘇生協議会】

委 員：多田 恵一

【3 学会合同呼吸療法士認定委員会】

派遣委員：落合 亮一 川前 金幸 中澤 弘一 妙中 信之
山田 芳嗣

【日本歯科麻酔学会】

監事：小板橋俊哉

【全国MC協議会連絡会世話人会】

世話人：多田 恵一

【全国医療安全共同行動】

委員：西脇 公俊

【禁煙推進学術ネットワーク】

委員：西脇 公俊

【日本医療安全調査機構】

委員：西脇 公俊

【医療ガス設備等安全確保に係る問題検討委員会】

委員：白石 義人

【ISO/TC121国内委員会】

委員：森松 博史

【JIS原案作成委員会委員】

委員：森松 博史 大嶽 浩司

【人工臓器治療関連学会協議会】

委員：藤野 裕士

【臓器移植関連学会協議会】

委員：齋藤 繁

【緩和ケア普及啓発事業関連団体協議会】

委員：齋藤 洋司

【抗血栓療法中の区域麻酔・神経ブロックガイドライン作成ワーキンググループ】

委員：佐倉 伸一 角倉 弘行 森松 博史 中本 達夫

【World Federation of Societies of Anesthesiologists (WFSA)】

Executive Committee：稲田 英一

○Permanent Committees

Constitution：大嶽 浩司

Publications：廣田 和美

Safety and Quality of Practice：瀬尾 勝弘

Scientific Affairs：土田 英昭

○Subspecialty Committees

Pain Relief：長櫓 巧

○Working Party

Manpower Committee：山蔭 道明

Professional Wellbeing Working Party：森田 潔

【Asian and Australasian Regional Section (AARS)】

Treasurer：大嶽 浩司


9. 事 業 監 查 報 告 書

監 査 報 告 書

公益社団法人 日本麻酔科学会
理事長 外 須美夫 殿

2017年 4月 20日

公益社団法人 日本麻酔科学会

監 事 西川 俊昭 

私、西川 俊昭は、監事として独立の立場から、2016年4月1日から2017年3月31日までの2016年度事業における理事の職務の執行に関し監査を行い、その結果について、次のとおり報告致します。

1 監査の方法の概要とその内容

監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めました。同時に、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、事業報告について検討致しました。

2 監査意見

業務に関する監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認められます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為、又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- 三 次年度業務遂行に向けて、別紙添付の監査意見書記載の点について、検討・改善を求めます。

(以上)